



# System Management Module 3

## ユーザー・ガイド



## 注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

[http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety\\_documentation/pdf\\_files.html](http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety_documentation/pdf_files.html)

さらに、ご使用のソリューションに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 1 版 (2025 年 2 月)

© Copyright Lenovo 2025.

LENOVO および THINKSYSTEM は Lenovo の商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

# 目次

目次	i	エンクロージャー	24
第 1 章 . 概要	1	SMM	24
このドキュメントの範囲	1	セッション	24
第 2 章 . System Management Module の Web インターフェースを開いて使 用する	3	第 8 章 . 設定	27
SMM3 へのログイン	3	ユーザー	27
Web インターフェースにおける SMM3 機能の説 明	6	アカウント・ポリシー設定	27
第 3 章 . ホーム・ページ	9	ユーザーの追加または編集	28
第 4 章 . イベント	13	ネットワーク・インターフェース	29
イベント・ログ	13	一般設定 (ホスト名、DNS ドメイン名、 VLAN)	29
監査ログ	13	IPv4 構成	30
デバッグ・ログ	14	IPv6 構成	31
通知 (電子メール/SNMPv2c/PEF)	14	ネットワーク・サービス	31
第 5 章 . システム	17	HTTPS 証明書	32
インベントリ	17	サービスとポート	32
ノード	18	SMTP サーバー	32
電圧	19	バックアップおよび復元	33
冷却	19	SMM 構成のバックアップ	33
第 6 章 . 電源	21	構成ファイルからの SMM の復元	33
電源の概要	21	VPD	34
電力メーター	21	SMM を出荷時のデフォルト値にリセットす る	34
電源構成	21	日付と時刻	34
電源キャッピング	22	第 9 章 . System Management Module 3 Redfish REST API	35
第 7 章 . 操作	23	第 10 章 . IPMI コマンド	37
ファームウェア	23	IPMI コマンドの内容	38
SMM	23	SMTP 構成パラメーター	56
SMM ファームウェア更新	23	IPMI コマンドのパラメーター	59
PCS ファームウェアの更新	24	IPMI コマンドの内容のパラメーター	59
エンクロージャーと SMM	24	IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター	60
		索引	63



---

## 第 1 章 概要

このセクションでは、System Management Module 3 (SMM3) ファームウェアに組み込まれた Web ページで利用できる機能の概要を示します。Transport Layer Security 1.3 をサポートしており、ネットワーク上でのデータ暗号化と証明書管理を行うことができます。

SMM3 は以下のタスクを実行します。

1. ノード・ステータスの報告
2. エンクロージャーの電源状況レポート
3. エンクロージャーの電源構成管理
4. エンクロージャーの重要プロダクト・データ (VPD) 情報の報告
5. エンクロージャー・イベント・ログの表示、保存、および消去
6. SMM3 の構成と設定のバックアップまたは復元

---

### このドキュメントの範囲

本ユーザー・ガイドでは、SMM3 の操作プロセスと WebGUI の詳細について説明します。説明には、ステータスを確認する方法、コンポーネントの情報、構成を変更する方法が含まれます。SMM3 Web ページの各機能タブについても詳細に説明し、定義します。

ユーザー・ガイドは、以下のエンクロージャーおよびトレイをサポートします。

- ThinkSystem N1380 Neptune DWC エンクロージャー・タイプ 7DDH (N1380 エンクロージャー) は、以下のトレイと互換性があります。
  - ThinkSystem SC750 V4 計算ノード・タイプ 7DDJ (SC750 V4 トレイ)

注：

- 本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。  
[http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety\\_documentation/pdf\\_files.html](http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety_documentation/pdf_files.html)
- ご使用のソリューションに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。  
<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>



---

## 第 2 章 System Management Module の Web インターフェースを開いて使用する

このトピックでは、ログインの手順を説明し、System Management Module Web インターフェースから実行できる操作についても説明します。

リモートで System Management Module にアクセスするには、まず System Management Module Web インターフェースを使用してログインする必要があります。この章では、ログインの手順を説明し、System Management Module Web インターフェースから実行できる操作についても説明します。

注：

- SMM の Web サイトでは、英語の設定のみがサポートされています。
- Web ページはモバイル・ブラウザで表示できますが、最適化されていない場合があります。たとえば、一部のタブレットを縦向きモードで使用した場合、解像度の幅が 768 ピクセルとなり、SMM Web コンテンツが正しく表示されません。
- ブラウザーおよびシステム・ズーム・モードでの表示は最適化されません。

---

### SMM3 へのログイン

SMM3 Web インターフェースを介して SMM3 にアクセスするには、このトピックの情報を参照してください。

SMM3 Web インターフェースにログインするには、以下のステップを実行します。

1. Web ブラウザーを開きます。「アドレス」フィールドまたは「URL」フィールドに、接続する SMM3 の IP アドレスまたはホスト名を入力します。  
SMM3 に初めてアクセスするときは、以下の出荷時のデフォルト・ネットワーク設定が適用されます。
  - a. SMM3 は、DHCP を使用して IP アドレスを取得しようとします。SMM3 は、2 分以内に DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合、静的 IP アドレスを使用します。
  - b. デフォルトの静的 IP は 192.168.70.100 (IPv4 有効) です。
  - c. Hyper Text Transfer Protocol Secure (HTTPS) を使用。(たとえば、<https://192.168.70.100>)
  - d. ローカル・リンク・アドレス (LLA) IP を使用して IPv6 が有効

注：LLA IP を計算するには、以下の手順を実行します。

- 1) SMM3 の MAC アドレス (39-A7-94-07-CB-D0) を 2 つに分割し、その間に FF-FE を挿入します。たとえば、39-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 2) 文字列の左端の 2 つの 16 進数字を 2 進数に変換します。たとえば、00111001-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 3) 最初のバイトのビット 1 の値を反転させます。たとえば、00111011-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 4) 文字列の左端の 2 進数を 16 進数に再び変換します。たとえば、3B-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 5) 16 進数字のペアを結合して数字 4 つのグループにします。たとえば、3BA7-94FF-FE07-CBD0 となります。
- 6) 区切り文字をダッシュ (-) からコロン (:) に変更します。たとえば、3BA7:94FF:FE07:CB D0 となります。
- 7) スtringの左側に FE80:: を追加します。たとえば、FE80::3BA7:94FF:FE07:CB D0 となります。

2. ユーザー名とパスワード (システム管理者が割り当てたもの) を SMM3 のログイン・ウィンドウに入力します。SMM3 は、最初はユーザー名 **USERID** とパスワード **PASSWORD** (英字の **O** でなく **ゼロ**) を使用して設定されています。次の図にログイン・ウィンドウを示します。

注：ユーザーは、パスワード入力ボックスの右側にある「目」アイコンをクリックして、パスワードテキストを表示または非表示にすることができます。

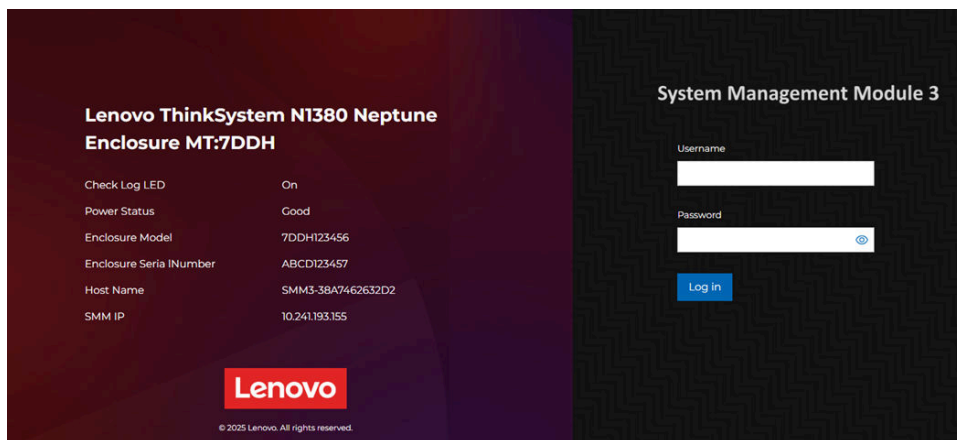


図1. ログイン・ページ

3. 「ログイン」 ボタンをクリックして、セッションを開始します。
4. 初回ログイン時のパスワードを変更します。

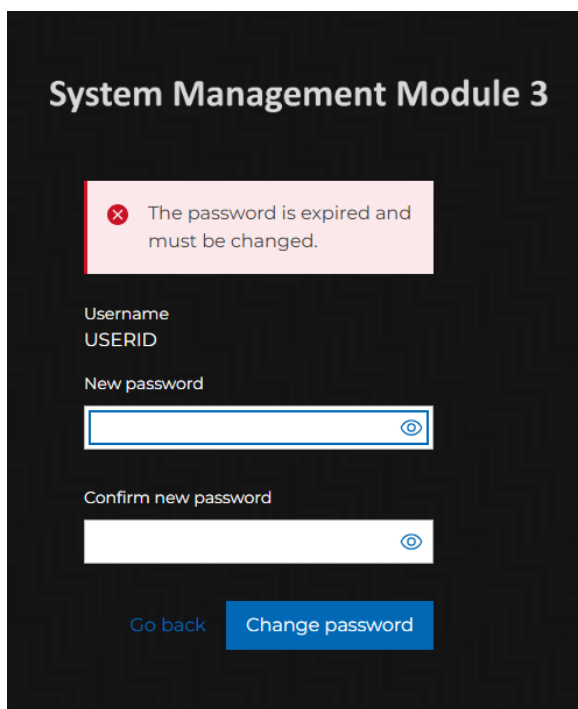


図2. 初回ログイン時のパスワード変更

注：

- デフォルトのパスワードの複雑性の規則は次のとおりです。
  - 長さが 10 文字以上であること
  - 少なくとも 1 つの数字 (0 ~ 9) を含んでいること
  - 次の 3 つのカテゴリのうち 2 つ以上を含んでいること
    - 大文字 (A ~ Z)
    - 小文字 (a ~ z)
    - 英字以外の文字 (!@#\$%^\*\_+=()::|?"/ など)

5. 次の図に示すように、ブラウザで SMM3 のホーム・ページが開きます。

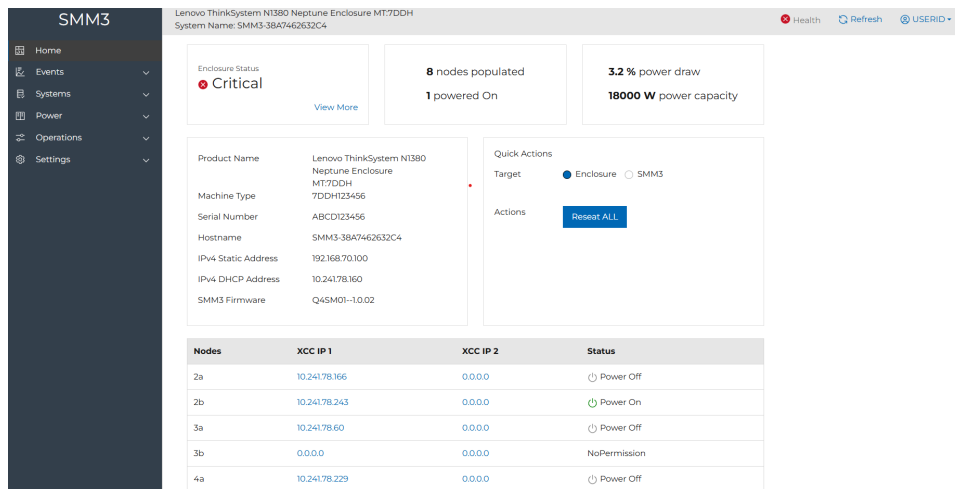


図3. ログイン後の Web ページ

Web ページは基本的に 3 つのセクションに分かれています。最初のセクションは左のナビゲーション・パネルです。ここでは、6 ページの「Web インターフェースにおける SMM3 機能の説明」で説明されている操作を実行できます。

2 番目のセクションはトップ・バーで、左から右に以下のシステム情報が表示されます。

- 製品名
- システム名
- ヘルス: 表示するヘルス・ステータスを選択します。ヘルス・ステータスには、次の種類があります。

注: System Management Module の Web ページでステータス・ボタンをクリックすると、13 ページの「イベント・ログ」ページに自動的に移動します。

- Health: 正常レベルの SEL のみがある状態です。
- Health: 警告レベルの SEL があり、クリティカル・レベルの SEL がない状態です。
- Health: クリティカル・レベルの SEL がある状態です。
- 最新表示: 現在のページの内容を更新します。
- ログイン名: ログイン・ユーザー名を表示します。ユーザー・アイコンをクリックすると、次のリストが表示されます。
  - プロファイル設定: ユーザー情報を設定します。ユーザー・パスワードを変更するか、アプリケーション全体のタイムゾーン表示設定を選択します。
  - ヘルプ: リンクをクリックすると、[https://pubs.lenovo.com/mgt\\_tools\\_smm3/](https://pubs.lenovo.com/mgt_tools_smm3/) に移動します。

- **オープン・ソース・ライセンス:** リンクをクリックして、SMM3 オープン・ソース・リストをダウンロード・フォルダーにエクスポートします。エクスポートされるファイル名は、デフォルトで「open\_source\_licenses.txt」になります。
- **ログ・アウト:** リンクをクリックして現在のユーザーからログ・アウトすると、ログイン・ページにリダイレクトされます。

3 番目のセクションは、エンクロージャーとノードの全体的なステータスと、ナビゲーション・パネルの右側に表示される情報です。詳しくは、[9 ページの第3章「ホーム・ページ」](#)を参照してください。

注：3 番目のセクションの内容は、ナビゲーションパネルで選択したタブによって異なる場合があります。

## Web インターフェースにおける SMM3 機能の説明

このトピックでは、Web インターフェースで使用できる SMM3 の各機能について説明します。

以下の表は、左側のナビゲーション・パネルに表示される System Management Module 3 の各機能についてまとめたものです。

タブ	選択	説明
ホーム	エンクロージャーのステータス	エンクロージャーのヘルス情報を表示します。
	ノードのステータス	エンクロージャーに取り付けられているノードの数と、電源がオンになっているノードの数を表示します。
	電源ステータス	システムの電力使用量ステータスを表示します。
	エンクロージャー情報	エンクロージャーの製品名、マシン・タイプ、ホスト名、ネットワーク情報、ファームウェア・バージョンを表示します。
	クイック操作	エンクロージャーおよび SMM3 に対するクイック・アクションを提供します。
	ノード情報	エンクロージャーに設置されたノードの情報を提供します。
イベント	イベント・ログ	「イベント・ログ」ページには、SMM イベント・ログに現在保管されているエントリが表示されます。ログ内のすべてのイベントには、SMM の日付と時刻の設定を使用してタイムスタンプが付けられます。設定により、一部のイベントはアラートも生成します。イベントログ内のイベントを並べ替えたり、フィルター処理したり、ファイルにエクスポートしたりできます。
	監査ログ	「監査ログ」ページには、SMM 監査ログに現在保管されているエントリが表示されます。ログには、報告されたシステム・イベントとリモート・アクセスの試行に関するテキストの説明が含まれます。

タブ	選択	説明
	デバッグ・ログ	詳細なサービス・サポート用に、デバッグ・ログを生成してダウンロードします。
	通知	送信通知条件の PEF 構成を含めます。 このページでは、システム・イベントを通知するユーザーを管理できます。メール/SNMPv2c 受信者を設定できます。また、テスト・イベントを生成して、通知機能の動作を確認することもできます。PEF 状態が発生したときに、トラップ受信者とメール受信者を編集します。
システム	インベントリー	インベントリー・ページには、システム内のすべてのコンポーネントが、ステータスおよびキー情報とともに表示されます。デバイスをクリックすると、そのデバイスに関する追加のハードウェア情報が表示されます。
	ノード	エンクロージャーのノード情報を表示します、これには XCC IP、電源ステータス、復元ポリシーなどが含まれます。XCC3 の再起動アクションまたはノードの取り付け直しアクションを提供します。
	電圧	システム電圧相対センサーを表示します。
	冷却	冷却構成と漏水センサーのステータスを表示します。
電源	電源の概要	電源に関連する情報を表示します。
	電力メーター	PCS ステータスおよび関連する電源データを表示します。
	電源構成	PCS ポリシーを構成します。電源冗長モードを構成できます。
	電源キャッピング	エンクロージャー全体の電源キャッピングとノード電源キャッピングを編集します。
操作	ファームウェア	「サーバー・ファームウェア」ページにはファームウェア情報が表示され、SMM または PCS ファームウェアを更新できます。
	エンクロージャーと SMM	エンクロージャーの仮想リセット、SMM の再起動、SMM ロケータの LED 制御、およびいくつかの情報をサポートします。
	セッション	最大セッション数とタイムアウト値を設定します。この SMM システムに接続されているすべてのセッションを一覧表示します。

タブ	選択	説明
設定	ユーザー	使用可能なすべてのユーザーを一覧表示します。ローカル・ユーザーを追加/編集/削除できます。パスワードの複雑さに関するルールやユーザーのロックアウト期間など、詳細なユーザー設定を構成できます。
	ネットワーク・インターフェース	SMM ネットワーク・インターフェース情報 (IPv4、IPv6 構成など)。
	ネットワーク・サービス	HTTPS 構成の追加/置換、IPMI サービスの有効化/無効化、SMTP サーバー構成のセットアップが可能です。
	バックアップおよび復元	SMM 構成と VPD 情報をバックアップまたは復元し、SMM の構成を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。 注意：「SMM を出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックすると、SMM に加えたすべての変更が失われます。
	日付と時刻	SMM の日付と時刻の設定

## 第3章 ホーム・ページ

「ホーム」ページには、エンクロージャーの全体的なステータスと情報が表示されます。

SMM3 Web インターフェースにログインすると、ホーム・ページが表示されます。このページから、エンクロージャーのステータス、ノード、電源、情報、クイック・アクション、各ノードに関する情報を確認できます。

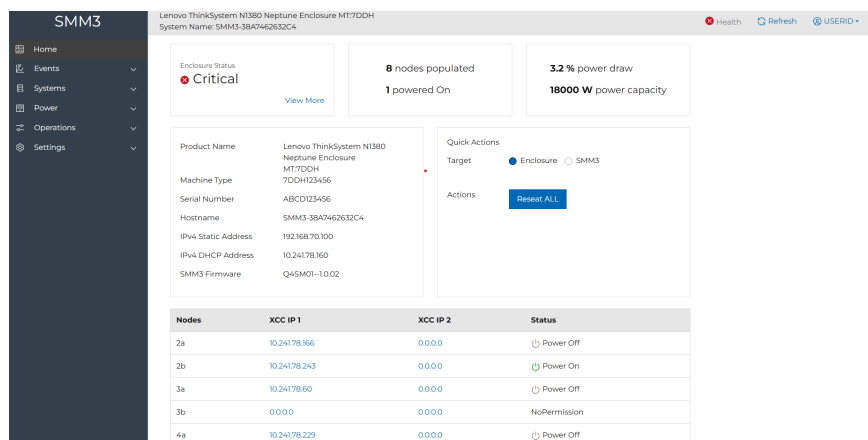


図4. ホーム・ページ

### 全体的なステータスの表示

ホーム・ページ上部にある全体情報パネルには、一般的なサーバー情報の要約が表示されます。表示される情報は次のとおりです。

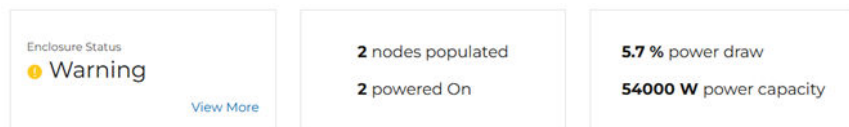


図5. 全体情報

- **エンクロージャー・ステータス:** エンクロージャーの全体的なヘルス・ステータスを示します。次のステータスがあります。
  - **Normal** : エンクロージャーが正常な状態であることを示します。
  - **Warning** : エンクロージャーに警告がある状態であることを示します。
  - **Critical** : エンクロージャーがクリティカルな状態であることを示します。「もっと見る」リンクをクリックして、13 ページの「イベント・ログ」ページに移動します。
- **ノード・ステータス:**
  - **搭載ノード数:** 現在搭載されているノードの数を表示します。
  - **電源オン:** 電源がオンになっているノードの数を表示します。
- **電源ステータス:**

- **消費電力:** 現在の電力負荷を表示します。
- **電源容量:** 最大電力容量を表示します。

### エンクロージャー情報の表示

以下を含むエンクロージャー情報を表示します。

Product Name	Lenovo ThinkSystem N1380 Neptune Enclosure MT:7DDH
Machine Type	7DDH123456
Serial Number	ABCD123456
Hostname	SMM3-6AE74DEFA74D
IPv4 Static Address	192.168.70.100
IPv4 DHCP Address	10.241.70.100
SMM3 Firmware	Q4SM01A-1.0.00

図6. エンクロージャー情報

- **製品名:** 製品名
- **マシン・タイプ:** マシン。タイプ
- **シリアル番号:** シリアル番号
- **ホスト名:** ホスト名 (デフォルトは SMM3-[MAC-Address])
- **IPv4 静的アドレス:** 現在設定されている静的 IPv4 アドレス
- **IPv4 DHCP アドレス:** DHCP サーバーによって割り当てられた IPv4 アドレス
- **SMM3 ファームウェア:** 現在のファームウェア・バージョン

### クイック操作

SMM3 のホーム・ページにあるクイック・アクション・セクションには、関連する2つのターゲットである「エンクロージャー」と「SMM3」が表示されます。次のいずれかのターゲットを選択して、関連するアクションを表示できます。

- **エンクロージャー:** 「すべて取り付け直す」。SMM3 が SMM3 およびすべてのノードを含むエンクロージャー全体を取り付け直します。
- **SMM3:** 「再起動」。SMM3 を再起動します。

### ノード情報の表示

ホーム・ページの下部にあるノード情報パネルには、以下を含む共通ノード情報の概要が表示されます。

Nodes	XCC IP 1	XCC IP 2	Status
1a	10.241.78.102	0.0.0.0	Power Off
1b	10.241.78.238	0.0.0.0	Power On

[View More](#)

図7. ノード情報

- XCC IP 1/XCC IP 2 リンク: IP リンクをクリックしすると、XCC Web ページが開きます。
- もっと見る: [18 ページの「ノード」](#) にリダイレクトします。



---

## 第4章 イベント

アクセス先のサーバーの情報を表示および監視する方法を理解するには、このトピックの情報を使用します。

---




### イベント・ログ

イベント・ログには、すべてのハードウェア・イベントおよび管理イベントの履歴が記録されています。

SEL (システム・イベント・ログ) には、エンクロージャー・レベルの情報イベント、警告イベント、クリティカル・イベントが記録されるため、エンクロージャーで何が起こったかを確認できます。最大 4090 個のイベント・エントリを記録することができます。

デフォルトでは、新しいイベントから古いイベントへの降順でソートされるため、最新のエントリが最初のページに表示されます。「日付」をクリックすると、イベントを古い順に並べ替えることができます。

以下は、「イベント・ログ」ページで実行できる操作の説明です。

- **検索:** 検索キーワードを入力すると、関連する結果のみがテーブルに表示されます。そのキーワードが「Severity」(重大度)、「Date」(日付)、または「Description」(説明)列に出現する場合に、データをフィルタリングします。入力では大文字と小文字が区別されないことに注意してください。
- **時間フィルター:** 特定の時間範囲内のデータをフィルタリングして表示または選択します。入力ボックスに特定の日付を直接入力するか、右側のカレンダー・アイコンをクリックして、表示するイベントの時間間隔を選択できます。
- **フィルター:** イベントの重大度で SEL エントリをフィルタリングします。「フィルター」ボタンをクリックすると、次のオプションを含む重大度の一覧が表示されます。ユーザーは、複数の重大度を選択して SEL エントリをフィルタリングできます。
  -  **Normal**: 「通常」タイプのイベントを示します。
  -  **Warning**: 「警告」タイプのイベントを示します。
  -  **Critical**: 「クリティカル」タイプのイベントを示します。エラー・イベントが発生すると、チェック・ログ LED が点灯します。
- **すべて削除:** すべてのシステム・イベント・ログを削除します。
- **すべてエクスポート:** すべての SMM3 SEL データをローカル・ストレージにエクスポートします。ファイル名のデフォルトの形式は `all_event_logs_YYYY-MM-DD_HH-MM-SS.json` です。例: `all_event_logs_2025-03-14_11-34-00.json`。

注: 現在のところ、ログがいっぱいになると新しいイベントを書き込むことができません。最新のイベントを記録できるように、ログを手動でクリアしてください。

---

### 監査ログ

監査ログは、SMM3 へのログイン、ユーザーの作成、パスワードの更新など、ユーザー操作の履歴を記録します。

最新の 1024 件の監査エントリが表示されます。

イベント・ログおよび監査ログはどちらも同じような保守および表示操作をサポートします。監査ログ・ページ上で実行できる表示およびフィルタリング操作の説明を確認するには、[13 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

注：

- 監査ログは、SMM3 が工場出荷時のデフォルト設定に復元した後も残ります。

---

## デバッグ・ログ

デバッグ・ログは、障害につながる可能性のあるイベントや状態に関する情報を即座に収集します。以前は FFDC (Fast Failure Data Collection) と呼ばれていました。

使用可能なデバッグ・ログ・ファイルがない場合、SMM デバッグ・ログ・テーブルには「利用可能な項目はありません」と表示されます。

以下は、「デバッグ・ログ」セクションで実行できる操作項目です。

- **デバッグ・ログの開始:** ボタンをクリックして、デバッグ・ログの生成を開始します。完了するまでに時間がかかる場合があります。

注：ファイルの生成が完了したかどうかを確認するには、Web ページを更新してください。

ファイルが生成されると、デバッグ・ログ・テーブルに表示され、ダウンロードまたは削除のオプションが表示されます。

- **ダウンロード・アイコン:** デバッグ・ログ・ファイルをローカル・ストレージにダウンロードします。デフォルトのファイル形式は [Machine-Type\_SerialNumber-smm3\_DebugLog\_YYMMDD\_HHMMSS.tgz] です。たとえば、7DDH123456\_ABCD123456\_smm3\_DebugLog\_241218\_110258.tgz です。
- **削除:** デバッグ・ログを削除して、ストレージ・スペースを解放します。

---

## 通知 (電子メール/SNMPv2c/PEF)

メール、SNMPv2c トラップ、または PEF を追加および変更するには、このトピックの情報を参照してください。構成されたメールおよび SNMPv2c トラップにより、ユーザーはエンクロージャーのステータスを監視できます。メールおよび SNMPv2c トラップは、PEF (プラットフォーム・イベント・フィルター) 設定に従って送信されます。

以下は、「通知」タブで実行できる操作の説明です。

### メール

このセクションでは、テスト・メール・アラートを有効化、構成、テストできます。

- **送信者情報:** 送信者のメール・アドレス。
- **受信者の編集:** メール・アラートの構成を編集します。
  - 有効または無効
  - メール の 件名
  - 受信者
- **受信者のクリア:** 選択したメール・アラート設定をクリアします。
- **テスト・メールの送信:** 選択した設定でテスト・メール・アラートを送信します。

注：

- メール・アラートを送信する前に、次の項目の変更が正常に保存されていることを確認してください。
  - 「イベント」 → 「通知」 → 「PEF セクション」：グローバル・アラートが「有効」になっている。
  - 「イベント」 → 「通知」 → 「メール・セクション」：受信者のメール・アドレスが有効で、状態が「有効」になっている。

- 「設定」 → 「ネットワーク・サービス」 → 「SMTP サーバー」: SMTP サーバーの構成が正常に接続されている。
- SMM3 SEL がいっぱいの場合、新しいイベント・エントリを SEL に追加できません。メール・アラートは、ログを消去するまで生成されません。

## SNMPv2c トラップ

- **コミュニティ**: 鉛筆アイコンをクリックして、SNMPv2c トラップのコミュニティ名を編集します。

注: デフォルト値: public。

- 以下は、「SNMPv2c トラップ」セクションで実行できる操作です。

- **トラップの編集**: ボタンをクリックして、SNMPv2c トラップの送信先の設定を編集します。
  - **無効/有効**: SNMP トラップのステータスの有効または無効を選択します。「無効」を選択した場合、設定は保持されますが、SNMPv2c トラップは送信されません。デフォルトでは、すべてのトラップが無効になっています。
  - **送信先 SNMPv2c トラップ・アドレス**: IPv4 または IPv6 の送信先アドレス (例: 10.24.195.66 または 2001::30) を入力します。
- **トラップのクリア**: 選択した SNMP の以前の構成をクリアします。
- **テスト・トラップの送信**: 選択したトラップ構成を使用して、テスト SNMP トラップを送信します。

注:

- テスト・トラップを送信する前に、次の項目への変更が正常に保存されていることを確認してください。
  - 「送信先」と「コミュニティ文字列」が設定済みであること。
  - 「イベント」 → 「通知」 → 「PEF セクション」: グローバル・アラートが「有効」になっている。
- SMM3 SEL がいっぱいになると、一部の PEF アラートが欠落したり、繰り返し送信されたりする可能性があります。
- PEF セクションで「**グローバル・アラートを有効にする**」が有効になっている場合、すべてのイベントが指定された IP アドレス宛に送信されます。
- 「SNMP トラップ・タイプ」で、対象となるタイプのイベントの「PEF の生成」チェックボックスをオンにします。構成の詳細については、以下の [15 ページの「PEF セクション」](#) を参照してください。

## プラットフォーム・イベント・フィルタリング (PEF) リスト

このセクションでは、SMTP/SNMP トラップ・イベント・タイプを設定できます。デフォルト値は次のとおりです。

- **グローバル・アラート・ステータス**:
  - グローバル設定は、すべての SNMPv2c トラップおよびメール受信者に適用されます。設定は、ボタンをクリックした直後に構成されます。
  - 有効の場合、SNMPv2c Trap またはメール・アラートが、「SNMPv2c トラップおよびメール」セクションの設定に基づいて送信されます。
  - 無効にすると、設定は構成されたままになりますが、SNMPv2c トラップまたはメール・アラートは送信されません。
  - デフォルトでは無効です。
- すべてのフィルターは有効に設定され、デフォルトで選択されています。トラップを送信するイベントのタイプを選択します。フィルターの横にあるチェックボックスをクリックすると、カテゴリ内の特定のコンポーネントの通知を選択または選択解除できます。設定後、必ず「保存」ボタンをクリックしてください。



---

## 第 5 章 システム

システム構成で使用可能なオプションについて理解するには、この章の情報を参照してください。

---

### インベントリー

システムの VPD (重要プロダクト・データ) を表示または編集するには、このページの情報を参照してください。

注：鉛筆アイコンをクリックして、次の VPD 情報を設定します。

- **エンクロージャー UUID:** UUID 形式データ: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx (x は 16 進数の文字)。
- **エンクロージャー・シリアル番号:** 英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) を使用して最大 10 文字まで入力可能。
- **エンクロージャー・モデル:** 英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) を使用して最大 10 文字まで入力可能。
- **変換コネクタ UUID:** UUID 形式データ: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx (x は 16 進数の文字)。

このページには、固定 VPD (重要プロダクト・データ) 情報が表示されます。

- [17 ページの「エンクロージャー」](#): エンクロージャーのインベントリー情報を表示します。
- [17 ページの「変換コネクタ」](#): 変換コネクタのインベントリー情報を表示します。
- [18 ページの「SMM3」](#): SMM3 のインベントリー情報を表示します。
- [18 ページの「PCS 電力変換ステーション」](#): PCS のインベントリー情報を表示します。

#### エンクロージャー

エンクロージャーについては、以下の情報が確認できます。

- 名前
- シリアル番号
- モデル
- UUID
- 製造元
- ハードウェアのバージョン

#### 変換コネクタ

変換コネクタについては、以下の情報が確認できます。

- 名前
- シリアル番号
- EC レベル
- 部品番号
- FRU 部品番号
- UUID
- 製造元
- 製造日
- ハードウェアのバージョン

## SMM3

SMM3 については、以下の情報が確認できます。

- 名前
- シリアル番号
- EC レベル
- 部品番号
- FRU 部品番号
- UUID
- 製造元
- 製造日
- ハードウェアのバージョン

## PCS 電力変換ステーション

電源 ID とステータスがこのセクションに表示されます。

- 名前
- モデル
- 電源容量
- シリアル番号
- 部品番号
- FRU 部品番号
- ヘッダー・コード
- バーコード
- 製造元
- メーカー・リビジョン
- メーカー・モデル
- メーカー所在地
- パッケージ・バージョン
- プライマリー・ファームウェア・リビジョン
- セカンダリー・ファームウェア・リビジョン

---

## ノード

ノード情報の表示、ノード・リストア・ポリシーの構成、XCC の再起動やノードの再取り付けなどの操作を実行できます。

- **ノード・チェックボックス:** 操作対象のノードを選択すると、利用可能な操作項目 (XCC の再起動/ノードの再挿入) が表示されます。
- **ノード:** サーバー・スロットの番号と、現在のノードの情報を表示します。取り付けられているノードのタイプと場所に応じて、番号は 1a ~ 8d です。
- **XCC IP 1 / XCC IP 2:** XCC の IP 情報を表示します。XCCIP リンクをクリックすると、XCC の Web ページが開きます。
- **ステータス:**
  - **許可なし:** ノードに電源の許可が与えられていないため、電源をオンにできません。
  - **障害:** ノードに電源障害があるため、電源をオンにできません。

- **電源オン:** ノードの電源がオンになっています。
- **電源オフ:** ノードの電源がオフになっています。
- **編集:** 電源復元ポリシーを設定します。復元ポリシーとして「**電源オフ**」または「**最後の状態**」のいずれかを選択します。これは、停電発生後の動作モードを示します。
  - **電源オフ:** 電源が復元されても、ノードは電源オフのままです。
  - **最後の状態:** ノードの電源が自動的にオンになり、電源障害が発生する前のステータスに復元されます。

設定を有効にするには、「**保存**」をクリックしてください。

注：この構成は、「現在の電源状態」が「良好」の場合に使用します。

System Management Module 3 から XCC の再起動またはノードの再取り付けを実行するには、次のボタンをクリックします。

- **XCC の再起動:** ノードの XCC を再起動するには、「XCC の再起動」ボタンをクリックします。
- **ノードの再取り付け:** ノード全体の電源を再起動するには、「ノードの再取り付け」ボタンをクリックします。

注：これらのアクションの後、ノードの XCC の準備が完了するまでに少なくとも 2 分かかります。

## 電圧

「電圧」ページでは、SMM3 ボードの電圧センサーを確認できます。

センサーのクリティカルしきい値に達すると、SMM3 は SEL を生成します。

## 冷却

冷却タブには、システム冷却情報と漏水検知器インスタンスが表示されます。

要素	動作
機器の種類	「CDU」と表示されます。
漏水保護時の電源オフ・モード	「ソフトオフ」または「ハードオフ」を表示します
漏水保護時の電源オフ・モードの時間	水漏れが検出されている間にエンクロージャーの電源がオフになる時間 (秒単位)。
ウォーター・ループ	「シリアル」または「パラレル」を表示します
名前	検知器の名前を表示します
漏水検知器の種類	「水分」を表示します
ステータス	「存在しない」、「正常」、「警告」、または「重大」と表示されます



---

## 第 6 章 電源

このトピックの情報を使用して、電源管理情報を表示し、電源管理機能を実行します

---

### 電源の概要

このページには、エンクロージャーの電力消費量、ノードの電力消費量、電力変換ステーションなどの電力サブシステムの電力消費量が表示されます。

注：

1. エンクロージャーと電源の電力消費は毎秒サンプリングされ、直近 30 回の測定値から最大値、最小値、平均値が表示されます。
2. ノードの電力消費量には、対応するアドオン・トレイ (GPU トレイなど) の電力消費量が含まれます。

---

### 電力メーター

このページには、PCS 全体のステータスと関連情報が表示されます。

ステータス監視、電源構成、または電源キャッピングソリューションのリファレンスとして使用できます。

---

### 電源構成

このページでは、電源変換ステーション構成の冗長モードやゼロ出力モードを設定できます。

このセクションで使用可能なフィールドには、次のものがあります。

- **最小 PCS 数:** 鉛筆アイコンをクリックして、1 ~ 4 の範囲で最小 PCS 数を編集します。
- **冗長モード:** 以下の 3 つのモードから選択できます。
  - **なし:** 1 台以上の電源が故障した場合、システムがスロットルされるかシャットダウンされる可能性があります。
  - **N+1:** 冗長電源として 1 台の電源・ユニットが適切に取り付けられているため、オーバーサブスクリプション・モードが有効でない限り、いずれかの電源が故障してもシステムの動作やパフォーマンスに影響はありません。
  - **N+N:** N 台の PCS をアクティブ、N 台の PCS をスタンバイ・モードで構成します。
- **オーバーサブスクリプション・モード:** 冗長電源からの余剰電力を利用できるようにする設定です。ただし、冗長性が失われた状態でシステム電源の負荷が高いままの場合、電源は 1 秒以内にシャットダウンします。このような電源上の緊急時の際、SMM3 はノードのスロットリング処理を行います。エンクロージャーのパフォーマンスに影響する可能性があります。
  - オーバーサブスクリプション・モードは、N+1 または N+N の冗長モードが有効になっている場合に適用されます。
  - N+1 冗長モードで有効にした場合、使用可能な総電力容量は、N+1 冗長モードの総容量の 1.2 倍に相当します。
- **ゼロ出力モード:** 電力要件が低いときに PCS をスリープ・モードにします。
  - 「ゼロ出力モード」はデフォルトでは無効になっており、N+1 および N+N の冗長モードが有効になっている場合にのみ適用されます。
  - 「ゼロ出力モード」を無効にすると、すべての電源が常にアクティブな状態に維持されます。

- スキャン間隔として**無効/10/30/60分**のいずれかを選択できます。一部の PCS は休止状態モードに移行し、残りのアクティブな PCS のワークロードを 50% に保つことで、PCS の電力効率を最大限に高めることができます。より短い時間を選択すると、SMM3 はワークロードの変化により迅速に対応できます。

「保存」をクリックして、電源構成の設定をアクティブ化します。

---

## 電源キャッピング

電源キャッピング・ポリシーを構成するには、このトピックの情報を 사용합니다。

電源キャッピングを使用すると、電力消費量にワット数制限を設定できます。個々のノードに適用すると、ノードの電力消費量の上限が割り当てられたレベルに設定され、エンクロージャーに適用すると、エンクロージャー全体の電力消費量の上限が設定されます。

以下のいずれかの電源キャッピング・タイプを選択できます。

- **エンクロージャー電源キャップ**
- **ノード電源キャッピング**

総電力容量は、電源の冗長化モードとシステムに取り付けられている PCS の数に基づいて計算されています。最大電力制限の手動設定は、実際の電力容量を超えることができます。

電源キャッピングが有効な場合、電力制限を維持するためにシステムがスロットルされる場合があります。電源キャッピング機能を有効にするか無効にするかを選択できます。鉛筆アイコンをクリックすると、電源キャッピング値を変更できます。入力ボックスに値を入力する際は、指定された範囲内の値を入力してください。

構成を変更したら、「保存」をクリックします。

---

## 第 7 章 操作

SMM3 モジュールの管理に使用される操作。

次の 3 つのページがあります。

- [ファームウェア](#)
- [エンクロージャーと SMM](#)
- [セッション](#)

---

### ファームウェア

このページには、ファームウェア情報およびファームウェア更新が表示されます。

このページには、次の 3 つの主な機能があります。

- [23 ページの「SMM」](#)
- [23 ページの「SMM ファームウェア更新」](#)
- [24 ページの「PCS ファームウェアの更新」](#)

### SMM

アクティブおよび非アクティブのファームウェア情報の概要が表示されます。

- **アクティブ・ファームウェア:** アクティブ・ファームウェアの情報概要を表示します。
- **非アクティブ・ファームウェア:** 非アクティブ・ファームウェアの情報概要を表示します。

### SMM ファームウェア更新

ファームウェアの更新プロセスは、3 つのステップで行われます。

- **ステップ 1:** 「[ファイルの追加](#)」をクリックし、ファームウェア・イメージ・ファイルを選択してから、「[アップロード](#)」をクリックします。
- **ステップ 2:** 有効なファームウェア・イメージがアップロードされると、ファームウェア情報が表示されます。更新プロセスに使用するターゲットとして「[SMM\\_Primary](#)」または「[SMM\\_Backup](#)」を選択します。

次のアクションも実行できます。

- **ロールバックの保証を有効にする:** チェックボックスをオンにすると、以前のファームウェア・バージョンにロールバックできます。この機能はデフォルトで「無効」に設定されています。
- **設定を保持する:** チェックボックスをオンにすると、設定が保持されます。構成が保持され、ファームウェアが更新された後に SMM3 が再起動します。チェックボックスをオフにすると、ファームウェア更新後に SMM3 の構成が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。

**注意:** アップロード処理中にブラウザを閉じたり、別のページに移動したりしないでください。

- **ステップ 3:** 「[更新](#)」をクリックして更新を開始します。更新の進行状況が表示され、更新が完了するまでに約 3 分から 5 分かかる場合があります。

**注意:**

- 更新処理中にブラウザを閉じないでください。進行状況が 100% に達すると、SMM3 は自動的に再起動します。再起動後、SMM3 の Web インターフェイスにアクセスするには、ログインし直す必要があります。

## PCS ファームウェアの更新

PCS ファームウェアを更新する手順。PCS ファームウェアの更新を手動で適用するには、次の手順を実行します。

- **ステップ 1:** 「ファイルの追加」をクリックし、ファームウェア・イメージ・ファイルを選択してから、「アップロード」をクリックします。
- **ステップ 2:** 有効なファームウェア・イメージがアップロードされると、ファームウェア情報が表示されます。更新プロセスのターゲットとして使用する PCS を確認します。既定では、使用可能なすべての PCS が選択されます。

注意：アップロード処理中にブラウザを閉じないでください。

- **ステップ 3:** 「更新」をクリックして更新を開始します。更新の進行状況が表示され、更新する必要がある PCS ファームウェアの数によっては数分かかる場合があります。

注意：更新処理中にブラウザを閉じないでください。

---

## エンクロージャーと SMM

エンクロージャーと SMM の設定を理解するには、このトピックの情報を参照してください。

### エンクロージャー

「エンクロージャーの取り付け直し」ボタンをクリックすると、エンクロージャーの電源がただちにオフになり、10 秒後に電源がオンになります。

注：エンクロージャーを取り付け直すと、Web ブラウザーと SMM 間の接続が数分間失われます。

### SMM

SMM を構成する際に、以下のオプションを使用できます。

- **ログ・ステータス LED を確認する:** クリティカル・イベントが発生すると「オン」と表示され、システム・クリティカル・イベントがアサート解消されると「オフ」と表示されます。
- **ロケーター LED 受け入れモード:** 「オン」または「オフ」を表示します。
- **ロケーター LED:** ロケーター LED の動作を選択し、設定変更を行った後、「起動」ボタンをクリックします。
  - **消灯:** エンクロージャー内のすべての計算ノードで ID LED を消灯し、受け入れモードに入ります。受け入れモードでは、LED の動作がノード ID LED によって決定されます。

注：ロケーター LED は、デフォルトで受け入れモードに設定されています。
  - **点灯:** 点滅中のものを除き、すべてのノード ID LED が点灯します (点滅中のものは、点滅し続けます)。
  - **点滅:** 以前の状態に関係なく、すべてのノード ID LED が点滅します。
- **SMM の再起動:** 「再起動」ボタンをクリックして SMM を再起動すると、Web ブラウザーと SMM 間の接続が 2 ~ 3 分間失われます。SMM がオンラインに戻った際には、再度ログインが必要になる場合があります。

---

## セッション

このページには、現在のセッションの一覧が表示され、セッション設定を構成できます。

セッション・ページでは、以下のフィールドを使用できます。

- **最大セッション数:** 編集アイコンをクリックし、1～16の範囲で最大セッション数を入力します。
- **WEBセッション・タイムアウト:** ドロップダウン・メニューからタイムアウト値を選択します。
- **切断:** 「切断」をクリックして、選択中のセッションを終了します。



## 第 8 章 設定

「構成」にある設定は、SMM3 モジュールの管理に使用します。

次の 5 つのページがあります。

- ユーザー
- ネットワーク・インターフェース
- ネットワーク・サービス
- バックアップおよび復元
- 日付と時刻

### ユーザー

ユーザー設定を表示または変更するには、このトピックの情報を使用します。

このページには、すべてのローカル・ユーザー・アカウント、アカウント・ポリシーの構成設定が一覧表示され、ユーザーを追加、編集、または削除できます。

このセクションで使用可能なフィールドには、次のものがあります。

- **アカウント・ポリシー設定:** アカウント・ポリシー設定ページでは、次のルールに基づいて異なる値を設定できます。詳しくは、[27 ページの「アカウント・ポリシー設定」](#)を参照してください。
- **ユーザーの追加:** 「ユーザーの追加」をクリックして、新しいユーザーを作成します。詳しくは、[28 ページの「ユーザーの追加または編集」](#)を参照してください。
- **ユーザーの編集:** 「ユーザーの編集」をクリックして、このユーザーの設定を変更します。詳しくは、[28 ページの「ユーザーの追加または編集」](#)を参照してください。
- **ユーザーの削除:** 削除するユーザーの行で「ユーザーの削除」をクリックします。

### アカウント・ポリシー設定

要素	動作	デフォルト設定
最初のアクセス時にパスワードを変更をユーザーに強制する	チェックボックスをオンにすると、この要件が有効になります。	オン (有効)
ログインに 10 回失敗した後の 300 秒間の IP アドレス・ブロック	チェックボックスをオンにすると、この要件が有効になります。	オン (有効)
パスワードの複雑性ルール	0 ~ 5 までの値。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 0. パスワードの複雑性のルールを無効にする。</li><li>• 1. 1 文字以上の英字を含む。</li><li>• 2. 1 文字以上の数字を含む。</li><li>• 3. 以下のうち少なくとも 2 つを含む:<ul style="list-style-type: none"><li>- (a) 大文字。</li><li>- (b) 小文字。</li><li>- (c) 特殊文字。</li></ul></li><li>• 4. ユーザー名の繰り返しや反転を含まない。</li></ul>	4

要素	動作	デフォルト設定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 同一文字の連続は2回まで。</li> </ul> 注：より高い数値のパスワード複雑性ルールを設定した場合、それ以下のルールもすべて自動的に適用されます。	
パスワードの有効期限	0 ~ 365 (日間)	0
パスワードの有効期限の警告期間	0 ~ 365 (日間)	0
最小パスワード長	8 ~ 20 (文字)	10
最短パスワード再利用サイクル	0 ~ 10 (回)	5
最小パスワード変更間隔	0 ~ 240 (時間)	1
最大ログイン失敗数	0 ~ 10 (回)	5
最大ログイン失敗後のロックアウト期間	0 ~ 2880 (分)	60
保存	アカウント ポリシー設定を保存します。	

## ユーザーの追加または編集

注：自分のアカウントのユーザー名とステータスは変更できません。

要素	動作
アカウントのステータス	このアカウントを手動で有効または無効にします。
特権	ドロップダウン・メニューから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者: すべての Web ページに対してフルアクセスを持ち、すべての設定および構成を変更する権限があります。</li> <li>オペレーター: 「ユーザー」 ページを除くすべての Web ページに対してフルアクセスを持ちます。オペレーターが「ユーザー」 ページ確認できるのは自身のアカウントのみで、アカウント・ページで変更を行うことはできません。</li> <li>読み取り専用: サーバー情報の表示のみ可能です。システムの状態に影響を与える操作 (保存、変更、クリア、再起動、ファームウェアの更新など) は実行できません。</li> </ul>
アクセス方法	次の3つのオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「IPMI」</li> <li>「Redfish、WebUI」</li> <li>「IPMI、Redfish、WebUI」</li> </ul>

要素	動作
パスワードの複雑性ルール	<p>0 ~ 5 までの値。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0. パスワードの複雑性のルールを無効にする。</li> <li>• 1. 1 文字以上の英字を含む。</li> <li>• 2. 1 文字以上の数字を含む。</li> <li>• 3. 以下のうち少なくとも 2 つを含む: <ul style="list-style-type: none"> <li>- (a) 大文字。</li> <li>- (b) 小文字。</li> <li>- (c) 特殊文字。。</li> </ul> </li> <li>• 4. ユーザー名の繰り返しや反転を含まない。</li> <li>• 5. 同一文字の連続は 2 回まで。</li> </ul> <p>注：より高い数値のパスワード複雑性ルールを設定した場合、それ以下のルールもすべて自動的に適用されます。</p>
ユーザー・パスワード	パスワードの複雑性ルールに準拠するパスワードを入力します。

## ネットワーク・インターフェース

ネットワーク・インターフェースの設定を表示または変更するには、このトピックの情報を使用します。

「設定」にある「ネットワーク・インターフェース」をクリックして、System Management Module のイーサネット設定を変更します。

「ネットワーク・インターフェイス」セクションでは、次のネットワーク・パラメーターを変更できます。

- [29 ページの「一般設定 \(ホスト名、DNS ドメイン名、VLAN\)」](#)
- [30 ページの「IPv4 構成」](#)
- [31 ページの「IPv6 構成」](#)

### 一般設定 (ホスト名、DNS ドメイン名、VLAN)

注：

- ネットワーク設定を変更すると、IP アドレスの設定が変更される場合があります。
- 設定に変更を加えるたびに、接続が失われてすべてのセッションが終了する可能性があります。
- 変更は即時に有効にならないことがあります。
- 「一般設定」のデフォルト設定:
  - ダイナミック DNS: 無効
  - DNS ドメイン名の DHCP: 無効
  - ホスト名 = SMM3-[SMM3-MAC-ADDR]
  - ドメイン名 = lenovo.com
  - VLAN を有効にする = 無効

要素	動作
ダイナミック DNS	動的 DNS サービスを有効または無効にします。変更はすぐに有効になります。
DNS ドメイン名に対する DHCP	DNS ドメイン名の DHCP を有効または無効にします。変更はすぐに有効になります。
ホスト名	SMM3 ホスト名。「適用」をクリックして構成を更新します。
ドメイン名	SMM3 ドメイン名。「適用」をクリックして構成を更新します。
VLAN の有効化	次の 2 つのオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• VLAN を無効にする: デフォルト設定です。</li> <li>• VLAN を有効にする: 入力ボックスに VLAN ID を入力します。入力値は 1 ~ 4095 の範囲内である必要があります。「適用」をクリックして構成を更新します。</li> </ul>

## IPv4 構成

要素	動作
IP ソース	次の 3 つのオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最初に DHCP、次に静的 IP アドレス: 最初に DHCP サーバーからのアドレスを使用し、次に静的 IP アドレスを使用します。</li> <li>• DHCP から IP アドレスを取得する: DHCP から IP アドレスを取得し、割り当てられた IPv4 アドレスを表示します。</li> <li>• 静的 IP アドレスを使用する: 静的 IP アドレスを使用します。「IPv4 静的アドレス」、「IPv4 静的ネットマスク」、「IPv4 静的ゲートウェイ」を構成できます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv4 静的アドレス</li> <li>• IPv4 静的ネットマスク</li> <li>• IPv4 静的ゲートウェイ</li> </ul>	IPv4 静的アドレス構成。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「IP ソース」が「最初の DHCP、次に静的 IP アドレス」または「DHCP から IP を取得」に設定されている場合は、DHCP サーバーによって割り当てられた情報を表示します。</li> <li>• 「IP ソース」が「静的 IP アドレスを使用する」に設定されている場合、ユーザーはユーザー構成を編集できます。</li> </ul>
DNS ソース	次の 2 つのオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP: DHCP サーバーから取得した DNS アドレス情報を表示します</li> <li>• 静的: ユーザーが DNS アドレスを手動で設定できる入力ボックスを表示します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS サーバー 1</li> <li>• DNS サーバー 2</li> </ul>	DNS サーバーの構成。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS ソースが「DHCP」に設定されている場合、DHCP サーバーによって割り当てられた DNS サーバーが表示されます。</li> <li>• 「DNS ソース」が「静的」に設定されている場合、これらのフィールドはユーザー設定用に編集できます。</li> </ul>
適用	IPv4 構成の保存

## IPv6 構成

要素	動作
IP ソース	<p>チェックボックスをクリックして、DHCP を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DHCP 有効:</b> IPv6 アドレス情報を表示します。</li> <li>• <b>DHCP 無効:</b> 「IPv6 静的アドレス 1」、「IPv6 静的アドレス 2」、「デフォルト・ゲートウェイ」を指定できます。</li> </ul> <p>チェックボックスをクリックして、ステートレスを有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ステートレス無効:</b> このチェックボックスをオンにすると、名前が「ステートレス有効」に変わり、DHCP サーバーからの IPv6 アドレスが表示されます。</li> <li>• <b>ステートレス有効:</b> このチェックボックスをオンにすると、名前が「ステートレス無効」に変わり、ステートレス・アドレスが表示されます。</li> </ul>
リンク・ローカル・アドレス	<p>リンク・ローカル・アドレスを表示します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6 静的アドレス 1</li> <li>• IPv6 静的アドレス 2</li> </ul>	<p>IPv6 アドレスとプレフィックス長の情報を指定します。</p> <p>使用可能な形式: [IPv6-Address]/[Prefix-length]</p> <p>例: 2001::31/64</p> <p>注: DHCP チェックボックスを最初に無効にする必要があります。</p>
デフォルト・ゲートウェイ	<p>デフォルト・ゲートウェイ。</p> <p>使用可能な IPv6 アドレスを指定します。</p>
DNS ソース	<p>次の 2 つのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DHCP:</b> DHCP サーバーから取得した DNS アドレス情報を表示します</li> <li>• <b>静的:</b> ユーザーが DNS アドレスを手動で設定できる入力ボックスを表示します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS サーバー 1</li> <li>• DNS サーバー 2</li> </ul>	<p>IPv6 DNS サーバー IP を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS ソースが「DHCP」に設定されている場合、DHCP サーバーによって割り当てられた DNS サーバーが表示されます。</li> <li>• 「DNS ソース」が「静的」に設定されている場合、これらのフィールドはユーザー設定用に編集できます。</li> </ul>
適用	IPv6 設定の保存

## ネットワーク・サービス

ネットワーク・サービス設定を表示または変更するには、このトピックの情報を参照してください。

「ネットワーク・サービス」セクションでは、次のネットワーク・パラメーターを変更できます。

- [32 ページの「HTTPS 証明書」](#)
- [32 ページの「サービスとポート」](#)

- 32 ページの「SMTP サーバー」

## HTTPS 証明書

### 自己署名証明書を使用する

1. 「自己署名証明書を使用する」ボタンをクリックして、証明書要求情報を入力します。
2. 「自己署名証明書」ボタンをクリックすると、カスタム入力データが使用されます。

#### 注：

1. 証明書をアップロードすると Web サービスが再起動され、現在の Web GUI セッションが終了し、Web サーバーが一時的に使用できなくなります。
2. CA から署名済み証明書に関する回答を受け取ると、証明書をインポートできます。PEM 形式での証明書のインポートがサポートされています。DER 証明書を PEM 形式に変換するには、コマンド `openssl x509 -inform der -in certificate.der -out certificate.pem` を使用します。証明書がインポートされたら、SMM3 Web に再接続する必要があります。

### 証明書署名要求 (CSR) の生成

1. 「CSR を生成」ボタンをクリックし、証明書要求情報を入力して CSR をダウンロードします。
2. 「CSR を生成」ボタンをクリックすると、証明書署名要求 (CSR) の内容が表示されます。
3. 「ダウンロード」をクリックして内容をファイルにダウンロードするか (デフォルトのファイル名: `certificate.csr`)、 「コピー」をクリックして内容をコピーします。

注：自己署名証明書を生成すると Web サービスが再起動され、現在の Web GUI セッションが終了し、Web サーバーが一時的に使用できなくなります。

### 証明書の置き換え

1. 「置き換え」ボタンをクリックし、「ファイルを追加」ボタンで CA ファイルを追加します。
2. 「置き換え」ボタンをクリックして、選択した既存の証明書を新しい証明書ファイルに置き換えます。

注：証明書をアップロードすると Web サービスが再起動され、現在の Web GUI セッションが終了し、Web サーバーが一時的に使用できなくなります。

## サービスとポート

- HTTPS ステータス: 読み取り専用スイッチ。HTTPS サービスは常に有効になっています。
- IPMI ステータス: スイッチをクリックして、IPMI サービスを有効または無効にします。

## SMTP サーバー

要素	動作
SMTP サーバー・アドレス	SMTP サーバーのアドレス。IPv4 アドレスに対応しています。
ポート	SMTP Port number.
SMTP 暗号化	SMTP 暗号化。クリックするとドロップダウン・メニューが表示され、次のオプションから選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• None</li> <li>• AutoDetect</li> <li>• StartTLS</li> </ul>

要素	動作
SMTP 認証	SMTP 認証。クリックするとドロップダウン・メニューが表示され、次のオプションから選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• None</li> <li>• AutoDetect</li> <li>• Plain (平文認証)</li> <li>• Login</li> <li>• CRAM_MD5</li> </ul>
ユーザー名	SMTP アカウントのユーザー名を確認できます。
パスワード	SMTP アカウントのパスワードを確認できます。 注：目のアイコンをクリックすると、パスワードがプレーンテキストで表示されます。
保存	SMTP サーバー構成を保存します。

## バックアップおよび復元

構成情報をバックアップまたは復元できます。構成情報は、ユーザー固有のパスワードで暗号化または復号され、ローカル・デバイスとの間でやり取りされます。

USB ストレージ・デバイスが挿入されて検出されると、SMM3 のユーザー構成情報の保持に使用できます。SMM3 は、USB ストレージ・デバイス上にある最新の構成ファイルのみをバックアップおよび復元に使用します。

注：ストレージ・デバイスは、マシン・タイプに応じて USB デバイスにすることができます。1 GB を超える USB ストレージ・デバイスのストレージ容量が必要です。サポート・ファイル・システムは FAT32 です。

「バックアップと復元」セクションでは、次のアクションを実行できます。

- [33 ページの「SMM 構成のバックアップ」](#)
- [33 ページの「構成ファイルからの SMM の復元」](#)
- [34 ページの「VPD」](#)
- [34 ページの「SMM を出荷時のデフォルト値にリセットする」](#)

## SMM 構成のバックアップ

以下のエンクロージャー構成を SMM USB ストレージまたはお客様のストレージ領域にバックアップできます。

- 電源の冗長性ポリシー
- オーバーサブスクリプション・モード
- ゼロ出力
- エンクロージャー・キャッピング/節約または計算ノード・キャッピング/節約。
- 電源復元ポリシー

## 構成ファイルからの SMM の復元

ローカル・デバイスまたは USB ストレージ・デバイスに保存されている構成を SMM3 に復元し、適用できます。事前に SMM3 の USB ポートに USB を挿入してください。

注：デフォルトのパスワードの複雑性の規則は次のとおりです。8文字以上に設定する必要があります。

## VPD

VPD 情報のバックアップまたは復元を実行できます。事前に SMM3 の USB ポートに USB を挿入してください。「適用」ボタンをクリックして完了です。

注：デフォルトのパスワードの複雑性の規則は次のとおりです。8文字以上に設定する必要があります。

## SMM を出荷時のデフォルト値にリセットする

SMM3 を出荷時のデフォルト値にリセットします。

ローカル・ユーザー、ネットワーク設定、電源設定、イベント・ログ、通知ターゲット、インポートされた証明書など、現在 SMM にあるすべての情報と設定が失われます。SMM は、工場出荷時のデフォルト設定で自動的に再起動します。DHCP が割り当てた IP アドレスまたはデフォルト・アドレス 192.168.70.100 を使用して、この SMM に再接続する必要があります。ログイン・パスワードも工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

注：

- ハードウェアのリセット・ボタンを 4 秒以上押すと、すべての設定（「時刻設定」を除く）を出荷時のデフォルト設定に復元できます。
- 管理者権限を持つユーザーのみがこの機能を実行できます。
- イーサネット接続が一時的に切断された場合、SMM Web インターフェースにアクセスするには SMM にログインする必要があります。
- 「SMM を出荷時のデフォルト値にリセットする」オプションを使用すると、SMM に加えたすべての変更が失われます。

---

## 日付と時刻

SMM3 の日付と時刻を構成するには、このトピックの情報を参照してください。

- **手動:** 日付と時刻を直接指定します。
- **NTP:** SMM3 の時刻を指定の NTP サーバーと同期させます。

---

## 第 9 章 System Management Module 3 Redfish REST API

System Management Module は、Redfish 準拠の使いやすい REST API セットを提供しており、System Management Module System Management Module フレームワークの外部で実行されているアプリケーションからアクセスするために使用できます。

これにより、System Management Module の機能を他のソフトウェアに簡単に統合できます。統合先のソフトウェアが System Management Module サーバーと同じシステムで実行されている場合でも、同じネットワーク内のリモート・システムで実行されている場合でも対応可能です。これらの API は業界標準の Redfish REST API であり、HTTPS プロトコルを通じてアクセスできます。

System Management Module Redfish REST API ユーザー・ガイドは、<https://pubs.lenovo.com/smm3-restapi/> から参照できます。

Lenovo は、Lenovo Redfish REST API と通信するソフトウェアを開発するための参照用に使用できる、オープン・ソースのサンプル Redfish スクリプトを提供します。これらのサンプル・スクリプトは、次の場所にあります。

- Python: <https://github.com/lenovo/python-redfish-lenovo>
- PowerShell: <https://github.com/lenovo/powershell-redfish-lenovo>

Redfish API に関連する DMTF 仕様は、<https://redfish.dmtf.org/> から入手できます。この Web サイトは、Redfish REST API の全般的な仕様およびその他の参照資料を提供します。



## 第 10 章 IPMI コマンド

このセクションでは、IPMI コマンドに関する情報について説明します。

注：RMCP+ または RMCP 経由の IPMI は、物理インターフェースであるイーサネット・ポートを介した OOB 通信を介して利用できます。

表 1. IPMI コマンド・リスト

NetFn	CMD	名前	NetFn	CMD	名前
0x32	0x90	38 ページの 「GET PCS COLLECTED DATA」	0x32	0xA9	48 ページの 「SET NODE RESTORE POLICY」
0x32	0x91	39 ページの 「GET PCS STATUS」	0x32	0xAA	49 ページの 「GET NODE RESTORE POLICY」
0x32	0x93	39 ページの 「GET CHASSIS MONITORING STATUS」	0x32	0xAB	49 ページの 「SET PCS ZERO OUTPUT MODE」
0x32	0x96	40 ページの 「GET SYS LED」	0x32	0xAC	49 ページの 「GET PCS ZERO OUTPUT MODE」
0x32	0x97	40 ページの 「SET SYS LED」	0x32	0xAD	50 ページの 「SMM3 RESET TO DEFAULT」
0x32	0x98	41 ページ の「GET NODE POWER READING」	0x32	0xAF	50 ページの 「SET VPD」
0x32	0x99	41 ページの 「GET NODE SIZE」	0x32	0xB0	51 ページの 「GET VPD」
0x32	0x9D	42 ページの 「GET CAP BOUNDARY」	0x32	0xB1	52 ページの 「FFDC ダン プ」
0x32	0x9E	42 ページの 「SET CAPPING VALUE」	0x32	0xB2	53 ページ の「SET SMTP CONFIG PARAMETERS」
0x32	0x9F	43 ページの 「SET CAPPING STATE」	0x32	0xB3	53 ページ の「GET SMTP CONFIG PARAMETERS」
0x32	0xA0	43 ページの 「GET CAPPING STATE」	0x32	0xC3	53 ページの 「GET PCS DATA」

表 1. IPMI コマンド・リスト (続き)

0x32	0xA1	44 ページの 「SET DATE TIME」	0x32	0xF0	54 ページの 「GET WEB STATE」
0x32	0xA2	44 ページの 「GET PCS POLICY OVS」	0x32	0xF1	54 ページの 「SET WEB STATE」
0x32	0xA4	45 ページ の「SET NODE RESET / RESEAT」	0x32	0xF5	54 ページの 「ENCLOSURE VIRTUAL RESEAT」
0x32	0xA5	45 ページ の「SET NODE RESET / RESEAT」	0x32	0xF6	55 ページの 「SET SYSTEM ENCLOSURE LRU」
0x32	0xA6	46 ページの 「BACKUP / RESTORE」	0x32	0xFA	55 ページ の「GET SECURITY OPTION」
0x32	0xA7	47 ページの 「GET NODE STATUS」	0x32	0xFB	56 ページの 「SET SECURITY OPTION」
0x32	0xA8	47 ページの 「GET SMM3 STATUS」			

## IPMI コマンドの内容

このセクションでは、IPMI コマンドの内容について詳しく説明します。

### GET PCS COLLECTED DATA

NetFn	0x32
CMD	0x90
リクエスト・データ	バイト 1
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - タイプ</li> <li>• バイト [3:2] - 最小読み取り値の概要</li> <li>• バイト [5:4] - 平均読み取り値の概要</li> <li>• バイト [7:6] - 最大読み取り値の概要</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x01 - AC 入力</li> <li>• 0x02 - PCS 電力消費量</li> </ul> <p>注：単位は 1 ジュールです。</p>

## GET PCS STATUS

NetFn	0x32
CMD	0x91
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト [2:1] - PCS EPOW</li> <li>• バイト [4:3] - PCS スロットル</li> <li>• バイト [6:5] - PCS あり</li> <li>• バイト [8:7] - PCS 電源良好</li> <li>• バイト 9 - EPOW 出力</li> <li>• バイト 10 - スロットル出力</li> <li>• バイト [12:11] - PCS タイプ</li> <li>• バイト [14:13] - 総電力バンク</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ]</p> <p>ビット [0:3] - PCS 1 ~ 4 に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - トリガーなし</li> <li>• 1b - トリガー</li> </ul>

## GET CHASSIS MONITORING STATUS

NetFn	0x32
CMD	0x93
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - シャーシ漏水センサー・ステータス</li> <li>• バイト 2 - トレイ漏水センサーあり</li> <li>• バイト 3 - トレイ漏水センサーの正常性</li> <li>• バイト 4 - トレイ漏水センサー・アラート</li> <li>• バイト 5 - トレイ・スパイク・アラート</li> <li>• バイト 6 - トレイ PIB 電源障害</li> <li>• バイト 7 - PCS 漏水</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ]</p> <p>バイト 1 - シャーシ漏水センサー・ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビット 0: 存在する <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - トリガーなし</li> <li>- 1b - トリガー</li> </ul> </li> <li>• ビット 1: 正常性 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 異常</li> <li>- 1b - 正常</li> </ul> </li> <li>• ビット 2: アラート <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 正常</li> <li>- 1b - 異常</li> </ul> </li> </ul> <p>バイト 2 - トレイ漏水センサーあり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 存在しない</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1b - 存在する</li> </ul> <p>バイト 3 - トレイ漏水センサーの正常性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 異常</li> <li>• 1b - 正常</li> </ul> <p>バイト 4 - トレイ漏水センサー・アラート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 正常</li> <li>• 1b - 漏水</li> </ul> <p>バイト 5 - トレイ・スパイク・アラート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 正常</li> <li>• 1b - スパイク・アラート</li> </ul> <p>バイト 6 - トレイ PIB 電源障害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 正常</li> <li>• 1b - PIB 電源障害</li> </ul> <p>バイト 7 - PCS 漏水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0b - 正常</li> <li>• 1b - 漏水</li> </ul>
--	---

#### GET SYS LED

NetFn	0x32
CMD	0x96
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - エンクロージャーの ID LED</li> <li>• バイト 2 - チェック・ログ LED</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ]</p> <p>バイト 1 - エンクロージャーの ID LED</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 消灯</li> <li>• 0x01 - オン</li> <li>• 0x02 - 点滅</li> <li>• 0x03 - 受け入れモード - 消灯</li> <li>• 0x04 - 受け入れモード - オン</li> <li>• 0x05 - 受け入れモード - 点滅</li> </ul> <p>バイト 2 - チェック・ログ LED</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 消灯</li> <li>• 0x01 - オン</li> </ul>

#### SET SYS LED

NetFn	0x32
CMD	0x97

リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - LED タイプ</li> <li>• バイト 2 - 機能</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - LED タイプ</li> <li>• バイト 2 - 機能</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ]</p> <p>バイト 1 - LED タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x01 - エンクロージャーの ID LED</li> </ul> <p>バイト 2 - 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 消灯</li> <li>• 0x01 - オン</li> <li>• 0x02 - 点滅</li> </ul> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ID LED がオフに設定されている間は、SMM3 は受け入れモードに入りません。このモードでは、LED の動作はノード ID LED によって決定されます。</li> <li>• 受け入れモードで SMM3 が XCC から複数の設定を受け取った場合、LED の動作優先順位は「点滅」が最も高く、「オン」「オフ」の順になります（「オフ」は最も優先度が低くなります）。</li> </ul>

#### GET NODE POWER READING

NetFn	0x32
CMD	0x98
リクエスト・データ	バイト 1 - ノード番号
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト [3:2] - 計算ノードの最小電力読み取り値</li> <li>• バイト [5:4] - 計算ノードの平均電力読み取り値</li> <li>• バイト [7:6] - 計算ノードの最大電力読み取り値</li> <li>• バイト [9:8] - GPU ノードの最小電力読み取り値</li> <li>• バイト [11:10] - GPU ノードの平均電力読み取り値</li> <li>• バイト [13:12] - GPU ノードの最大電力読み取り値</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ]</p> <p>バイト 1 - ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トレイ 1 ノード A の場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ 8 ノード B の場合: 0x8B</li> </ul> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位は 1 ワットです。</li> <li>• シャーシの電力読み取り値は、搭載ノードの合計です。</li> </ul>

#### GET NODE SIZE

NetFn	0x32
CMD	0x99

リクエスト・データ	バイト1-ノード番号
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト1-ノード番号</li> <li>• バイト2-ノードの物理幅</li> <li>• バイト3-ノードの物理高さ</li> <li>• バイト4-アドオン有効</li> <li>• バイト5-アドオンの幅</li> <li>• バイト6-アドオンの高さ</li> </ul>
コメント	[リクエスト・データ] バイト1-ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• トレイ1ノードAの場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ8ノードBの場合: 0x8B</li> </ul>

### GET CAP BOUNDARY

NetFn	0x32
CMD	0x9D
リクエスト・データ	バイト1-ノード番号
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト1-ノード番号</li> <li>• バイト[3:2]-最小キャッピング値</li> <li>• バイト[5:4]-最大キャッピング値</li> <li>• バイト[7:6]-保護電力キャッピング値</li> <li>• バイト[9:8]-ユーザー電源キャッピング値</li> <li>• バイト[11:10]-熱電源キャッピング値</li> </ul>
コメント	[リクエスト・データ] バイト1-ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシの場合: 0x00</li> <li>• トレイ1ノードAの場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ8ノードBの場合: 0x8B</li> </ul> 注： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源キャッピングは、OSランタイムでのみ適用されます。</li> <li>• 単位は1ワットです。</li> </ul>

### SET CAPPING VALUE

NetFn	0x32
CMD	0x9E
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト1-ノード番号</li> <li>• バイト[3:2]-キャッピング値</li> </ul>

レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト [3:2] - キャッピング値</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシの場合: 0x00</li> <li>• トレイ 1 ノード A の場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ 8 ノード B の場合: 0x8B</li> </ul> <p>注: 単位は 1 ワットです。</p>

### SET CAPPING STATE

NetFn	0x32
CMD	0x9F
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト 2 - キャッピング・モード</li> <li>• バイト 3 - 節約モード</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト 2 - キャッピング・モード</li> <li>• バイト 3 - 節約モード</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシの場合: 0x00</li> <li>• トレイ 1 ノード A の場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ 8 ノード B の場合: 0x8B</li> </ul> <p>バイト 2 - キャッピング・モード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul> <p>バイト 3 - 節約モード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> </ul> <p>注: バイト 3 は後方互換性のために予約されています。</p>

### GET CAPPING STATE

NetFn	0x32
CMD	0xA0
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト 2 - キャッピング・モード</li> <li>• バイト [4:3] - キャッピング値</li> <li>• バイト 5 - 節約モード</li> </ul>

コメント	[リクエスト・データ] バイト1-ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシの場合: 0x00</li> <li>• トレイ1ノードAの場合: 0x1A</li> <li>• ...</li> <li>• トレイ8ノードBの場合: 0x8B</li> </ul>
	[レスポンス・データ] バイト2-キャッピング・モード <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul> バイト5-節約モード <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>

### SET DATE TIME

NetFn	0x32
CMD	0xA1
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト [1:2] - 年</li> <li>• バイト 3 - 月</li> <li>• バイト 4 - 日付</li> <li>• バイト 5 - 時</li> <li>• バイト 6 - 分</li> <li>• バイト 7 - 秒</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト [1:2] - 年</li> <li>• バイト 3 - 月</li> <li>• バイト 4 - 日付</li> <li>• バイト 5 - 時</li> <li>• バイト 6 - 分</li> <li>• バイト 7 - 秒</li> </ul>
コメント	[リクエスト・データ] 例: 2037/12/31 23:59:59 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - 0x20</li> <li>• バイト 2 - 0x37</li> <li>• バイト 3 - 0x12</li> <li>• バイト 4 - 0x31</li> <li>• バイト 5 - 0x23</li> <li>• バイト 6 - 0x59</li> <li>• バイト 7 - 0x59</li> </ul>

### GET PCS POLICY OVS

NetFn	0x32
CMD	0xA2

リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - PCS ポリシー</li> <li>• バイト 2 - OVS モード</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ] バイト 1 - PCS ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 冗長性なし</li> <li>• 0x01 - N+1 ポリシー</li> <li>• 0x02 - N+N ポリシー</li> </ul> <p>バイト 2 - OVS モード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>

### SET PCS POLICY OVS

NetFn	0x32																															
CMD	0xA3																															
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - PCS ポリシー</li> <li>• バイト 2 - OVS モード</li> </ul>																															
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - PCS ポリシー</li> <li>• バイト 2 - OVS モード</li> </ul>	注：																														
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - システム PCS ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 冗長性なし</li> <li>• 0x01 - N+1 ポリシー</li> <li>• 0x02 - N+N ポリシー</li> </ul> <p>バイト 2 - システム OVS モード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul> <p>バイト 3 - ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - OK</li> <li>• 0x01 - 現在エラーあり</li> <li>• 0x02 - バンク不足</li> </ul> <p>バイト 4 - ユーザー PCS ポリシー</p> <p>バイト 5 - ユーザー OVS モード</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 PCS</th> <th>2 PCS</th> <th>3 PCS</th> <th>4 PCS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N+0</td> <td>√</td> <td>√</td> <td>√</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>N+1</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>N+1 (OVS あり)</td> <td>×</td> <td>√</td> <td>√</td> <td>√</td> </tr> <tr> <td>N+N</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>N+N (OVS あり)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>√</td> </tr> </tbody> </table>		1 PCS	2 PCS	3 PCS	4 PCS	N+0	√	√	√	×	N+1	×	×	×	×	N+1 (OVS あり)	×	√	√	√	N+N	×	×	×	×	N+N (OVS あり)	×	×	×	√
	1 PCS	2 PCS	3 PCS	4 PCS																												
N+0	√	√	√	×																												
N+1	×	×	×	×																												
N+1 (OVS あり)	×	√	√	√																												
N+N	×	×	×	×																												
N+N (OVS あり)	×	×	×	√																												

### SET NODE RESET / RESEAT

NetFn	0x32
CMD	0xA4
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ノード番号</li> <li>• バイト 2 - リセット・モード</li> </ul>

レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト1-ノード番号</li> <li>• バイト2-リセット・モード</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト1-ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トレイ1ノードAの場合: 0x1A</li> <li>...</li> <li>• トレイ8ノードBの場合: 0x8B</li> </ul> <p>バイト2-リセット・モード</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リセット (BMC リセット)</li> <li>2. 再取り付け (AC サイクル)</li> </ol> <p>注: 応答 D5h は、ノードが存在しないことを示します。</p>

## BACKUP / RESTORE

NetFn	0x32
CMD	0xA6
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト1-アクション</li> <li>• バイト2-パスワードの長さ</li> <li>• バイト [3:N]-パスワード文字列</li> </ul>
レスポンス・データ	バイト1-ステータス
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト1-アクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00-バックアップまたは復元のステータスを取得</li> <li>• 0x01-ストレージ・デバイスへのバックアップ</li> <li>• 0x02-ストレージ・デバイスからの復元</li> </ul> <p>バイト2-パスワードの長さ</p> <p>注: アクションが 0x01 または 0x02 の場合のサポート</p> <p>バイト [3:N]-パスワード文字列</p> <p>注: アクションが 0x01 または 0x02 の場合のサポート</p> <p>[レスポンス・データ] バイト1-ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - コマンド OK</li> <li>• 0x01 - バックアップの復元を実行中</li> <li>• 0x31 - バックアップ完了</li> <li>• 0x32 - バックアップ失敗</li> <li>• 0x41 - 復元完了</li> <li>• 0x42 - 復元失敗</li> </ul> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• このコマンドは、USB ドングルなどの外部ストレージ・デバイスとの間での構成のバックアップ/復元に使用されます。ストレージ・デバイスが挿入されていない場合、ステータスは故障になります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 要求アクションが 0x01/0x02 の場合、パスワード文字列には、少なくとも 8 文字 (最大 20 文字) の印刷可能な US-ASCII (コード: 33 ~ 126) 文字を使用し、次の 4 つのカテゴリのうち 3 つの文字を含める必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 英語の大文字 (A ~ Z)</li> <li>- 英語の小文字 (a ~ z)</li> <li>- 10 進数字 (0 ~ 9)</li> <li>- 英字以外の文字 (!, \$, #, % など)</li> </ul> </li> </ul> <p>注: パスワードの検証に失敗した場合、コマンドは 0xCC ステータスコードで応答します。</p>
--	---

### GET NODE STATUS

NetFn	0x32
CMD	0xA7
リクエスト・データ	バイト 1 - ノード番号
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バイト 1 - ノード番号</li> <li>● バイト 2 - 電源状態</li> <li>● バイト 3 - 幅</li> <li>● バイト 4 - 高さ</li> <li>● バイト 5 - アクセス権限の状態</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トレイ 1 ノード A の場合: 0x1A</li> <li>...</li> <li>● トレイ 8 ノード B の場合: 0x8B</li> </ul> <p>バイト 2 - 電源状態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 0x00 - スタンバイの許可</li> <li>● 0x01 - 最初のアクセス権限失敗</li> <li>● 0x02 - 2 番目のアクセス権限失敗</li> <li>● 0x03 - アクセス権限成功</li> <li>● 0xFF - 初期化未実施</li> </ul>

### GET SMM3 STATUS

NetFn	0x32
CMD	0xA8
リクエスト・データ	該当なし

レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - プラットフォーム ID</li> <li>• バイト 2 - ファームウェアのメジャー・バージョン</li> <li>• バイト 3 - ファームウェアのマイナー・バージョン</li> <li>• バイト 4 - PSOC バージョン・パッチ</li> <li>• バイト 5 - FPGA メジャー・バージョン</li> <li>• バイト 6 - FPGA マイナー・バージョン</li> <li>• バイト 7 - ブート・フラッシュ番号</li> <li>• バイト [8:14] - ファームウェア・ビルド ID</li> <li>• バイト 15 - 必要な最小設置済み電源数</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ]          バイト 1 - プラットフォーム ID</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: N1380 用</li> </ul> <p>バイト 7 - ブート・フラッシュ番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x01 - プライマリ・セクション</li> <li>• 0x02 - バックアップ・セクション</li> </ul> <p>バイト [8:14] - ファームウェア・ビルド ID</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ASCII コードのプレーンテキスト。</li> </ul> <p>バイト 15 - 必要な最小設置済み電源数、1 ~ 4</p>

#### SET NODE RESTORE POLICY

NetFn	0x32
CMD	0xA9
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1: トレイ 1 復元ポリシー</li> <li>• バイト 2: トレイ 2 復元ポリシー</li> <li>• バイト 3: トレイ 3 復元ポリシー</li> <li>• バイト 4: トレイ 4 復元ポリシー</li> <li>• バイト 5: トレイ 5 復元ポリシー</li> <li>• バイト 6: トレイ 6 復元ポリシー</li> <li>• バイト 7: トレイ 7 復元ポリシー</li> <li>• バイト 8: トレイ 8 復元ポリシー</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1: トレイ 1 復元ポリシー</li> <li>• バイト 2: トレイ 2 復元ポリシー</li> <li>• バイト 3: トレイ 3 復元ポリシー</li> <li>• バイト 4: トレイ 4 復元ポリシー</li> <li>• バイト 5: トレイ 5 復元ポリシー</li> <li>• バイト 6: トレイ 6 復元ポリシー</li> <li>• バイト 7: トレイ 7 復元ポリシー</li> <li>• バイト 8: トレイ 8 復元ポリシー</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ]          バイト N: トレイ N 復元ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビット [7:6]: ノード D             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 01b: 最後の状態</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b: 消灯</li> <li>• ビット [5:4]: ノード C</li> <li>• ビット [3:2]: ノード B</li> <li>• ビット [1:0]: ノード A</li> </ul>
--	---

#### GET NODE RESTORE POLICY

NetFn	0x32
CMD	0xAA
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1: トレイ 1 復元ポリシー</li> <li>• バイト 2: トレイ 2 復元ポリシー</li> <li>• バイト 3: トレイ 3 復元ポリシー</li> <li>• バイト 4: トレイ 4 復元ポリシー</li> <li>• バイト 5: トレイ 5 復元ポリシー</li> <li>• バイト 6: トレイ 6 復元ポリシー</li> <li>• バイト 7: トレイ 7 復元ポリシー</li> <li>• バイト 8: トレイ 8 復元ポリシー</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ] バイト N: トレイ N 復元ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビット [7:6]: ノード D <ul style="list-style-type: none"> <li>- 01b: 最後の状態</li> <li>- 00b: 消灯</li> </ul> </li> <li>• ビット [5:4]: ノード C</li> <li>• ビット [3:2]: ノード B</li> <li>• ビット [1:0]: ノード A</li> </ul>

#### SET PCS ZERO OUTPUT MODE

NetFn	0x32
CMD	0xAB
リクエスト・データ	バイト 1 - ユーザー出力モード
レスポンス・データ	該当なし
コメント	<p>49 ページの「GET PCS ZERO OUTPUT MODE」を参照してください。</p> <p>注：サポートされていない電源がある場合、または電源が一致しない場合、ゼロ出力モードは無効になります。</p>

#### GET PCS ZERO OUTPUT MODE

NetFn	0x32
CMD	0xAC
リクエスト・データ	該当なし

レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ユーザー出力モード</li> <li>• バイト 2 - ゼロ出力ステータス</li> </ul>
コメント	<p>[レスポンス・データ] バイト 1 - ユーザー構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: 無効</li> <li>• 0x01: 10 分ごとに更新</li> <li>• 0x02: 30 分ごとに更新</li> <li>• 0x03: 60 分ごとに更新</li> </ul> <p>バイト 2 - ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: 無効</li> <li>• 0x01: ゼロ出力を実行中</li> <li>• 0x02: ゼロ出力モードは非アクティブ化されています</li> </ul>

### SMM3 RESET TO DEFAULT

NetFn	0x32
CMD	0xAD
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	バイト 1 - ステータス・コード
コメント	<p>[レスポンス・データ] バイト 1 - ステータス・コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 実行中</li> </ul>

### SET VPD

NetFn	0x32												
CMD	0xAD												
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - VPD タイプ</li> <li>• バイト 2 - デバイス ID</li> <li>• バイト [3:N] - VPD データ</li> </ul>												
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - VPD タイプ</li> <li>• バイト 2 - デバイス ID</li> </ul>												
コメント	<p>[レスポンス・データ] バイト 1 - VPD タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - SMM3</li> <li>• 0x05 - エンクロージャー</li> <li>• 0x08 - 変換コネクタ</li> </ul> <p>バイト 2 - デバイス ID</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>説明</th> <th>バイト</th> <th>エンクロージャー</th> <th>SMM3</th> <th>変換コネクタ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0x00</td> <td>マシン・タイプ・モデル</td> <td>10 バイト</td> <td>√</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	コード	説明	バイト	エンクロージャー	SMM3	変換コネクタ	0x00	マシン・タイプ・モデル	10 バイト	√		
コード	説明	バイト	エンクロージャー	SMM3	変換コネクタ								
0x00	マシン・タイプ・モデル	10 バイト	√										

0x01	マシンのシリアル番号	10 バイト	√		
0x02	コンポーネントの品番	12 バイト	√	√	√
0x03	コンポーネント FRU 番号	12 バイト	√	√	√
0x04	コンポーネントのシリアル番号	12 バイト	√	√	√
0x05	製造 ID	4 バイト	√	√	
0x06	ハードウェア・リビジョン・レベル	1 バイト		√	√
0x07	製造年月日	4 バイト	√	√	√
0x08	UUID	16 バイト	√	√	√
0x09	IANA エンタープライズ番号	4 バイト	√		
0x0A	製品 ID	2 バイト	√		
0x0B	コンポーネント名	11 バイト	√		
0x0C	GLID	11 バイト	√		
0x0D	EC レベル	10 バイト	√	√	√

### GET VPD

NetFn	0x32
CMD	0xB0
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - VPD タイプ</li> <li>• バイト 2 - デバイス ID</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - VPD タイプ</li> <li>• バイト 2 - デバイス ID</li> <li>• バイト [3:N] - VPD データ</li> </ul>
コメント	50 ページの「SET VPD」を参照してください。

## FFDC ダンプ

NetFn	0x32
CMD	0xB1
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - 機能</li> <li>• バイト [2:N] - データ (オプション)</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - ステータス</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ] バイト 1 - 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: クエリのステータス</li> <li>• 0x01: TFTP サーバーへの FFDC ダンプ。</li> <li>• 0x02: USB への FFDC ダンプ。</li> </ul> <p>バイト [2:N] - データ (オプション)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TFTP サーバーの場合のみ: TFTP サーバーのアドレスとパスを「/」で区切った ASCII 文字列。パスは空でもかまいません。</li> </ul>
	<p>[レスポンス・データ] バイト 1 - ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• クエリのステータス用 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0x00: 終了済み</li> <li>- 0x01: 実行中</li> <li>- 0x02: 予約済み</li> <li>- 0x03: USB なし</li> <li>- 0x04: Tar エラー</li> <li>- 0x0E: アップロードの失敗</li> <li>- 0x0F: TFTP サーバーが見つからない</li> </ul> </li> <li>• TFTP サーバーへの FFDC ダンプの場合: <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0x00 - 完了</li> </ul> </li> <li>• USB への FFDC ダンプの場合: <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0x00 - 完了</li> </ul> </li> </ul> <p>注：このフィールドの最大長は 64 文字です。</p> <p>以下のステップは、IPMI 経由で FFDC をダンプする方法を示しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TFTP サーバーへの FFDC ダンプを実行します。IP が 16 進数形式である TFTP サーバー・アドレスを設定します。以下の例では、TFTP サーバー・アドレスを 192.168.1.1 に設定します。 <pre>ipmitool -H SMM3_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1 0x01 0x31 0x39 0x32 0x2E 0x31 0x36 0x38 0x2E 0x31 0x2E 0x31</pre> </li> <li>2. FFDC ダンプ・ステータスの照会: <pre>ipmitool -H SMM3_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1 0x00</pre> </li> <li>3. USB への FFDC ダンプを実行します。 <pre>Ipmitool -H SMM3_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1 0x02</pre> </li> </ol>

	注：FFDC ログ・ファイル名は SMM3-MAC_addr-FFDC-YYYY-MM-DD-HHMMSS.tgz です
--	--

### SET SMTP CONFIG PARAMETERS

NetFn	0x32
CMD	0xB2
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - パラメーター・セレクター</li> <li>• バイト [2:N] - データ</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - パラメーター・セレクター</li> <li>• バイト [2:N] - データ</li> </ul>
コメント	パラメーターのセレクターおよびデータについては、表-56 ページの「SMTP 構成パラメーター」を参照してください。

### GET SMTP CONFIG PARAMETERS

NetFn	0x32
CMD	0xB3
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - パラメーター・セレクター</li> <li>• バイト 2 - セット・セレクター</li> <li>• バイト 3 - ブロック・セレクター</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - パラメーター・セレクター</li> <li>• バイト [2:N] - データ</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ]          バイト 2 - セット・セレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: パラメーターはセット・セレクターを必要としません。</li> </ul> <p>バイト 3 - ブロック・セレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00: パラメーターはブロック・セレクターを必要としません。</li> </ul> <p>注：パラメーター/セット/ブロック・セレクターとデータについては、表-56 ページの「SMTP 構成パラメーター」を参照してください。</p>

### GET PCS DATA

NetFn	0x32
CMD	0xC3
リクエスト・データ	バイト 1 - PCS 番号
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - PCS 番号</li> <li>• バイト [3:2] - ファン A の速度</li> <li>• バイト [5:4] - ファン B の速度</li> <li>• バイト [7:6] - VIN</li> <li>• バイト [9:8] - PCS タイプ</li> </ul>

コメント	[リクエスト・データ] バイト 1 - PCS 番号
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• N1380 エンクロージャー <ul style="list-style-type: none"> <li>- PCS 1 ~ 4: 0x01 ~ 0x04</li> </ul> </li> </ul>
	[レスポンス・データ] バイト [3:2] - 予約済み
	バイト [5:4] - 予約済み
	バイト [7:6] - VIN
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位は 1 ボルトです。</li> </ul>
	バイト [9:8] - PCS タイプ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位は 1 ワットです。</li> </ul>
	注：ファン B の速度は、シングル・ファン PCS では 0x00 になります。

### GET WEB STATE

NetFn	0x32
CMD	0xF0
リクエスト・データ	該当なし
レスポンス・データ	バイト 1 - 状態
コメント	[レスポンス・データ] バイト 1 - 状態
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>

### SET WEB STATE

NetFn	0x32
CMD	0xF1
リクエスト・データ	バイト 1 - 状態
レスポンス・データ	バイト 1 - 状態
コメント	[リクエスト・データ] バイト 1 - 状態
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>

### ENCLOSURE VIRTUAL RESEAT

NetFn	0x32
CMD	0xF5
リクエスト・データ	該当なし

レスポンス・データ	バイト1 - ステータス
コメント	[レスポンス・データ] バイト1 - ステータス <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 進行中</li> </ul>

### SET SYSTEM ENCLOSURE LRU

NetFn	0x32
CMD	0xF6
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト1 - 機能</li> <li>バイト2 - LRU</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト1 - 機能</li> <li>バイト2 - 現在のLRU</li> <li>バイト3 - 前のLRU (読み取りオプション)</li> </ul>
コメント	[リクエスト・データ] バイト1 - 機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 書き込み</li> <li>0x01 - 読み取り</li> </ul> バイト2 - LRU <ul style="list-style-type: none"> <li>エンクロージャー LRU</li> </ul>

### GET SECURITY OPTION

NetFn	0x32
CMD	0xFA
リクエスト・データ	バイト1 - タイプ
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト1 - タイプ</li> <li>バイト2 - 設定</li> <li>バイト3 - 設定 (オプション)</li> </ul>
コメント	[リクエスト・データ] バイト1 - タイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - パスワードの最小文字数</li> <li>0x01 - 初回アクセス時にユーザーにパスワードの変更を強制する</li> <li>0x02 - パスワード有効期限 (日数)</li> <li>0x03 - パスワード有効期限の警告期間 (日数)</li> <li>0x04 - 最小パスワード変更間隔 (時間単位)</li> <li>0x05 - パスワードの最小再利用サイクル</li> <li>0x06 - ログイン失敗の最大回数</li> <li>0x07 - 最大ログイン失敗後のロックアウト期間 (分)</li> <li>0x08 - 10回のログイン失敗後にIPアドレス・ブロックを300秒間有効にする</li> <li>0x09 - パスワードの複雑さのルール</li> <li>0x0A - ロールバックの保証の有効化</li> </ul> バイト2 - LRU

	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンクロージャー LRU</li> </ul>
	<p>[レスポンス・データ] バイト 3 - 構成設定 (オプション)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2 バイト・データ用の MSB</li> </ul> <p>バイト 2 - LRU</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンクロージャー LRU</li> </ul> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パスワード複雑性ルール: (ルール 1 から順に、指定されたルール数までを有効に設定する必要があります) 0x00: パスワード複雑性ルールが無効。 <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - パスワード複雑性ルールが無効</li> <li>0x01 - 少なくとも 1 文字を含む</li> <li>0x02 - 少なくとも 1 つの数字を含む</li> <li>0x03 - 次のうち少なくとも 2 つが含まれる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>大文字</li> <li>小文字</li> <li>特殊文字: !@#\$%^*_+=0.: ?\"</li> </ul> </li> <li>0x04: ユーザー名の繰り返しや反転を含まない</li> <li>0x05: 同一文字の連続は 2 回まで。</li> </ul> </li> <li>パスワードでは、空白文字と以下の特殊文字は使用できません: ~&amp;&lt;&gt;/[]{};,</li> </ul>

## SET SECURITY OPTION

NetFn	0x32
CMD	0xFB
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - タイプ</li> <li>バイト 2 - 設定</li> <li>バイト 3 - 設定 (オプション)</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - タイプ</li> <li>バイト 2 - 設定</li> <li>バイト 3 - 設定 (オプション)</li> </ul>
コメント	55 ページの「GET SECURITY OPTION」を参照してください。

## SMTP 構成パラメーター

次の表は、53 ページの「SET SMTP CONFIG PARAMETERS」と 53 ページの「GET SMTP CONFIG PARAMETERS」の詳細パラメーターです。

## 送信者情報

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
送信者情報	0	<p>送信元を割り当てます。このフィールドにはデフォルトで &lt;host name&gt;@&lt;domain name&gt; が自動的に入力されています。フィールドが OEM 設定の場合は、以下の規則に従う必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スペース文字のみで構成することはできません。</li> <li>2. 英数字は a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9、スペース文字、およびアルファベット以外の文字の組み合わせでなければなりません。</li> <li>3. フィールドの最大長は 254 文字です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 1: 文字列の長さ</li> <li>• データ [2:N]: &lt;host name&gt;@&lt;domain name&gt; の文字列</li> </ul> </li> </ol>

## 宛先メールアドレス

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
宛先メールアドレス	1	<p><b>データ 1: セット・セレクター = フィールド・セレクター、0 ベース。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:2] - 予約済み</li> <li>• [1:0] - フィールド・セレクター <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - フィールド 1 - 有効/無効</li> <li>- 01b - フィールド 2 - 宛先のメール・アドレス</li> <li>- 10b - フィールド 3 - メールの説明</li> <li>- 11b - フィールド 4 - アラートの送信 (設定のみ)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>データ 2: ブロック・セレクター = メール・アラート・セレクターのターゲット、0 ベース。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:2] - 予約済み</li> <li>• [1:0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - メール・アラート 1</li> <li>- 01b - メール・アラート 2</li> <li>- 10b - メール・アラート 3</li> <li>- 11b - メール・アラート 4</li> </ul> </li> </ul> <p><b>セレクター = 0</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>データ 3:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:1] - 予約済み</li> <li>- [0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 無効</li> <li>- 1b - 有効</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>セット・セレクター = 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>データ 3:</b> 文字列の長さ、最大 = 64。</li> <li>• <b>データ [4:N]:</b> 宛先メール・アドレスの文字列</li> </ul> <p><b>セット・セレクター = 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>データ 3:</b> 文字列の長さ、最大 = 254。</li> <li>• <b>Data [4:N]:</b> メールの説明の文字列</li> </ul>

## SMTP (メール) サーバー設定

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
SMTP (メール) サーバー設定	2	<p>データ 1: セット・セレクター = フィールド・セレクター、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:1] - 予約済み</li> <li>• [0] - フィールド・セレクター <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - フィールド 1 - SMTP IP アドレス</li> <li>- 1b - フィールド 2 - SMTP ポート番号</li> </ul> </li> </ul> <p>セレクター = 0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: 文字列の長さ、最大 = 254。</li> <li>• データ [3:N]: IPV4、IPV6、または FQDN の文字列。</li> </ul> <p>セット・セレクター = 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Data [2:3]: ポート番号。LS-byte が先頭。</li> </ul>

## SMTP 認証

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
SMTP 認証	3	<p>データ 1: セット・セレクター = フィールド・セレクター、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:3] - 予約済み</li> <li>• [2:0] - フィールド・セレクター <ul style="list-style-type: none"> <li>- 000b - フィールド 1 - ユーザー名</li> <li>- 001b - フィールド 2: パスワード (設定のみ)</li> <li>- 010b - フィールド 3 - STARTTLS モード</li> <li>- 011b - フィールド 4 - SASL モード</li> <li>- 100b - 111b - 予約済み</li> </ul> </li> </ul> <p>セレクター = 0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:1] - 予約済み</li> <li>- [0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 無効</li> <li>- 1b - 有効</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>セット・セレクター = 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: 文字列の長さ、最大 = 254。</li> <li>• データ [3:N]: ユーザー名の文字列。</li> </ul> <p>セット・セレクター = 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: 文字列の長さ、最大 = 254。</li> <li>• データ [3:N]: パスワードの文字列。</li> </ul> <p>セット・セレクター = 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:2] - 予約済み</li> <li>- [1:0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - 自動</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 01b - オフ</li> <li>- 10b - オン</li> <li>- 11b - 予約済み</li> </ul> <p>セット・セレクター = 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ 2: <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:3] - 予約済み</li> <li>- [2:0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 000b - なし</li> <li>- 001b - 自動</li> <li>- 010b - プレーン</li> <li>- 011b - ログイン</li> <li>- 100b - MD5</li> <li>- 101b - 111b - 予約済み</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
--	--	---

## IPMI コマンドのパラメーター

このセクションには、IPMI コマンドのパラメーターに関する情報が含まれています。

表 2. IPMI コマンドのパラメーターのリスト

NetFn	CMD	名前	パラメーター	パラメーター名
0x0C	0x01	SET LAN CONFIG PARAM	0xC3	ホスト名
			0xC4	ドメイン・ネーム
			0xC5	DHCP Option 12
			0xC6	DHCP Option 60
	0x02	GET LAN CONFIG PARAM	0xC3	ホスト名
			0xC4	ドメイン・ネーム
			0xC5	DHCP Option 12
			0xC6	DHCP Option 60

## IPMI コマンドの内容のパラメーター

このセクションでは、IPMI コマンドの内容のパラメーターについて詳しく説明します。

### SET LAN CONFIG PARAM

NetFn	0x0C
CMD	0x01
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1 - チャネル番号</li> <li>• バイト 2 - パラメーター・セレクター</li> <li>• バイト [3:N] - 構成パラメーター</li> </ul>
レスポンス・データ	バイト 1 - 完了コード

コメント	<p>[リクエスト・データ]          バイト 2 - パラメーター・セレクター</p> <p>バイト [3:N] - 構成パラメーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表 - 60 ページの「IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター」を参照してください。</li> </ul>
	<p>[レスポンス・データ]          バイト 1 - 完了コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0x80: パラメーターはサポートされていません。</li> <li>0x81: 「set complete」状態ではないときに「set in progress」値の設定を試みます。</li> <li>0x82: 読み取り専用パラメーターを書き込もうとしました。</li> <li>0x83: 書き込み専用パラメーターの読み取りを試みました。</li> </ul>

### GET LAN CONFIG PARAM

NetFn	0x0C
CMD	0x02
リクエスト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - チャネル番号</li> <li>バイト 2 - パラメーター・セレクター</li> <li>バイト 3 - セット・セレクター</li> <li>バイト 4 - ブロック・セレクター</li> </ul>
レスポンス・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - 完了コード</li> <li>バイト 2 - パラメーター・リビジョン</li> <li>バイト [3:N] - 構成パラメーター</li> </ul>
コメント	<p>[リクエスト・データ]          バイト 2 - パラメーター・セレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表 - 60 ページの「IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター」を参照してください。</li> </ul> <p>バイト 3 - セット・セレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00: パラメーターがセット・セレクターを使用していない場合。</li> </ul> <p>バイト 4 - ブロック・セレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00: パラメーターがブロック・セレクターを使用していない場合。</li> </ul>

### IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター

次の表は、LAN 構成の IPMI パラメーターの詳細を示しています。

表 3. IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
アドレスのソース	0x04	IP アドレスのソース  バイト 1 - IP アドレス方式を取得します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x01: 静的 IP アドレス</li> <li>• 0x02: DHCP のみ</li> <li>• 0x04: 最初に DHCP、次に静的 IP アドレス</li> </ul>
ホスト名	0xC3	BMC のホスト名 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1: 文字列長、最大値は 63 です。</li> <li>• バイト [2:N]: BMC ホスト名のプレーンテキスト。</li> </ul>
DNS ドメイン名	0xC4	DNS ドメイン名。設定操作は、静的な DNS ドメイン名を使用することを示します。 注: 「DNS ドメイン名に DHCP を使用する」の設定が無効になります <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 1: 文字列長、最大値は 237 です。</li> <li>• バイト [2:N]: DNS ドメイン名のプレーンテキスト。</li> </ul>
DHCP 送信ホスト名オプション	0xC5	バイト 1: <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>
DHCP 送信ベンダー・クラス情報オプション	0xC6	バイト 1: <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0x00 - 無効</li> <li>• 0x01 - 有効</li> </ul>



---

# 索引

操作 23  
更新 23  
概要 6  
構成 27  
電源 21

## g

GET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS 57

## i

IPMI コマンド 37, 59  
IPMI コマンドの内容 38, 59

## l

LAN 構成パラメーター 61

## p

power  
消費量 21  
PSU  
構成 21  
PSU 構成 21

## S

SET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS 57  
SMM 24  
SMM3  
回復 33  
SMM3 のリカバリー 33  
SMTP 構成パラメーター 57  
System Management Module  
Web インターフェース 3

## W

Web インターフェースの開始および使用 3

## い

イベント  
ログ 13  
イベント・ログ 13

## え

エンクロージャー 24  
VPD 17  
エンクロージャー VPD 17

## さ

サーバー電源 21

## せ

セッション 24

## ね

ネットワーク 29  
ネットワーク・サービス 31

## の

電力消費量の概要 21

## ふ

ファームウェア 23

## ゆ

ユーザー 27





**Lenovo**